



花しょうぶ

6月号

当社のホームページ・ブログをご覧ください

編集・発行
熊日多良木販売センター
 (代)小出堅太郎 小出忠紹
 石田敏郎 尾前竜二 湯山高志
 球磨郡多良木町大字多良木 356-1
TEL 42-3355
FAX 49-1726
<http://www.taragi.com/>

第61回郡民体育大会 グラウンドゴルフ大会



雨上がりのグラウンドで
苦戦する選手

「第61回郡民体育祭グラウンドゴルフ大会」が6月8日に、湯前町グラウンドゴルフ場にて行われました。球磨郡の9町村から選ばれし精鋭メンバーが一堂に会し、梅雨空の合間を縫って開催されま

したが、前日まで続いた長雨の影響で、グラウンドコンディションは最悪の状態。皆同じ条件とはいえ、スコアメイクに苦戦を強いられました。結果は左記の通りです。本来の実力を発揮できなかったと思いますが、また来年の大会に向けて楽しみながら、気持ちを新たに練習に励まれることでしょうか。



古語・季語を入れて 楽しむ俳句教室

多良木町生涯学習

(多良木町男子チーム)

(多良木町女子チーム)

(あさぎり町男子チーム)

(あさぎり町女子チーム)

(俳句教室の皆さん 前列左：宗像夕野火先生)

6月3日に、多良木町生涯学習「俳句教室」が多良木町多目的研修センター小会議室にて行われました。俳句教室(講師:宗像夕野火先生)は受講生5名で行われています。

俳句は5・7・5の句で古語を使い、季語を入れ、旧仮名遣いで書き、最初に、互選(全部の句の中から好きな句を選ぶ)をして、選んだ句を詠み終わりに、先生よりいい句を詠まれたり、言葉や古語の使い方の指導をされていました。

講師の宗像先生は「俳句というのは、短くまとめるのが難しいが、そこが楽しい。これからはずっと続けていきたい」と話されました。

受講生の東ひろ子さんは「今年から始めていて、まだまだ勉強不足だけど、17文字に人生の思いを詰め込んで、俳句を楽しめたらと思っています」と話されました。

皆さんの素晴らしい句を紹介します。

夏めくやひとり住まひの部屋広く(宗像夕野火)

薫風の山頂に竹ち揚雲雀(住吉緑蔭)

溪音やうつぎの花やたもとほり(竹下和子)

梅雨晴れの夕陽背に濃く麦を扱ぐ(東ひろ子)

庫裡にきく老鶯の声川向う(竹下ミスエ)

皆さんも、散歩しながら季節を感じ、俳句を詠んでみてはいかがでしょうか？

男子の部

優勝 水上村(195打)
5位 多良木町(213打)
8位 あさぎり町(216打)

女子の部

優勝 山江村(199打)
4位 多良木町(218打)
5位 あさぎり町(226打)

木希記

◆日本中、いや世界を驚かせたあの東日本大震災から3カ月。なかなか進まない復興、関係者が想定外とはぐらかす原発被害拡大、九州の私たちもイライラが募るばかりです◆そんな中、2日付け熊日本紙に掲載された「手製のノートを被災地に送る」という記事。あまり目立つ扱いではありませんでしたが、読んでいてほんわりとした気分になりました◆多良木町延壽寺婦人部の皆さんが裏面が白いチラシに少し厚手のカレンダーなどを表紙に綴じた、まさに手作りノート。岩手県でどなたかのメモ帳に役立つか、それとも子どものお絵描き帳に喜ばれているか：◆被災者を励ますのはお金や高価な物資だけでなく、さりげない心づかいもあると教えられました。掲載された写真の表紙には「悲しんだり そんな日々を共に歩めることにありがとうございます」とあります◆「そんな」とあるから「悲しみ」の前にも何か一言あるはず。素直に考えると「喜んだり」でしようが、意外と「苦しんだり」や「悩んだり」かも。あなたはどんな言葉を思い浮かべますか。(X)

熊日エコバッグ教室

（むつみ保育園の皆さん）



むつみ保育園エコバック教室
（6月7日 参加者10名）
子育て支援センター 椎葉六美先生
「もぞかを見て知って、作ってみたい
と思い、お願いしました。これから
みんなに教えて、エコバックの作り方を
どんどん広めていければと思っています」



（JA岡原福留女性部の皆さん）

慈願寺婦人部「十日講」
エコバック教室
（6月10日 参加者18名）
那須律子会長
「学生時代を思い出し、真剣に取り
組みました。古新聞をリサイクルに
出すのはもったいないと思える
くらい、素敵なものが出来上がり、
皆感無量です。今回作ったものより、
小さいサイズのバックを作りな
がら、活用していきたいです」

JA 岡原 福留女性部エコバック教室

班長 廣瀬清子さん
（6月14日 参加者6名）

「以前にエコバックを見た事があって、
作ってみたいな～と思っていたら、熊
日の「もぞか」に載っていたので願
いしました。今日実際作って見たら難
しかったです。覚えているうちにもう
一度、家で作ってみて、今度はサイズ
等を色々考えて、プレゼント用のバ
ックも作ってみたいです。」

（慈願寺婦人部「十日講」の皆さん）



お知らせ
エコバック教室開催をご希望の
方は、当販売センターへお申込
下さい。☎42-3355

思いやりの心育て！人権の花運動

6月10日に、多良木小学校（橋本 辰治 校長：全校生徒 331名）にて、「人権の花運動」伝達式が行われました。
この人権の花運動の目的は、主に小学生に対する啓発活動として、昭和57年から実施されており、配布された花の種子や球根などを、児童が協力して育て、生命の尊さを実感したり、豊かな心・やさしい心・思いやりの心を体得させることを目的に活動されています。
橋本校長より、「この人権の花運動でしたことを心で受け止めて、お互い協力して、思いやりの心を育てて、どんどんこの運動を広げてほしい」とコメントされました。

6年2組の、城本 恵史郎さんは、「今まで人を大切にしていたか、正直わからなかった。これからは、花の種を大事にして、思いやりのある人になりたいです」と話してくれました。
これから花の種を児童達が育てて、心身共に成長してくれることでしょう。地域の皆さんも、温かい心で見守ってあげて下さい。



メディアを考える研究授業

熊日記者がゲスト講師



多良木中の3年3組で6月16日、長野紀理子教諭による国語科の研究発表がありました。「メディア社会を生きる」という単元の授業です。

球磨郡内の同科の教諭方が集い、熊日・球磨支局の岩崎健示記者もゲスト講師として教壇に立ちました。授業は、メディアの特性を理解し、記事に込められた意図を考える内容。長野教諭は、東日本大震災時に発行された地元紙の手書きの壁新聞や、日本語で復興へのメッセージが掲載された英国紙を提示し、「作り手の思いを感じて」などと話しました。
岩崎記者は、自身が書いた二つの記事を紹介。外国人学生が和菓子職人に作り方の指導を受けた記事では、「職人の『和菓子は食べるだけでなく、見ても美しい芸術品』という思いを反映させたかった」と解説し、「記者の意図を考えながら新聞を読んでほしい」と呼び掛けました。『尚、来年度より中学校において「新学習指導要領」が適用されます。その中に学習や授業に「新聞活用」が盛り込まれており、今回のような授業が始まります。』

多良木警察署だより

みんなでつくろう!!! 安全・安心くまもと

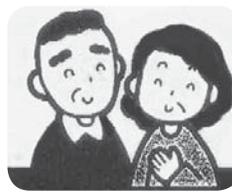
熊本県の高齢者 約46万人
県内人口の25%以上が高齢者

人がいない部屋には
カギをかける。
補助錠も！

振り込め詐欺も
まだまだ発生中

乗り物には必ず
カギをかける。

車内に貴重品を
置かない。
窓も閉めて！



登録募集中

身近なところから
声をかけあって、
みんなで防犯を
心がけましょう!!

7月1日からシルバー見守りネットの運用を開始します。
高齢者の安全・安心に関する情報を、
あなたの携帯電話にメールでお届け♪
net110@ansin.police.pref.kumamoto.jp
に空メールしてね♪
(多良木警察署提供)